

## こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

内閣府発表の5月度経済報告では、「景気は依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある」との報告がなされましたが、欧州政府債務危機を巡る不確実性が再び高まっており、これらの影響によって我が国の景気が下押しされる可能性もあり、予断を許さない状況にあります。

このような状況下において、短期的な対策を行う事は必要であります。一方で皆さんが将来に夢を持てるような中&長期的な施策を行う事も行政の責任であると思います。

それでは、「将来に夢を持てるような施策とは何か？」と訊ねられれば、航空宇宙産業の育成や次世代自動車の開発等、皆さんの頭の中には様々なイメージが浮かぶと思いますが、今回はリニア中央新幹線について触れさせていただきたいと思います。

リニア中央新幹線は時速500kmで走行し、東京～名古屋間を40分で行なぐ夢の乗り物であります。平成39年開業を目指し、いよいよ事業がスタートいたします。

愛知県ではリニア中央新幹線の開業を見据え、今後の地域づくりにおける課題整理に着手いたしますが、リニア開業によって、観光誘客の拡大や首都圏への販路拡大などのプラス効果が期待できる一方、首都圏への購買力の更なる流出等のマイナス効果も懸念されております。

従って、リニア新幹線ではありませんが、平成26年度末に北陸新幹線金沢開業を控えている石川県に先日赴き、その対策等について伺ってまいりましたが、やはり官民連携・広域連携によって、地域資源に更なる磨きをかける事が最も重要との事でありましたので、愛知県下全域が一体となって、地域の魅力アップに繋がるよう提言してまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和

